

【課題番号】 2-1702

【研究課題名】

パリ協定気候目標と持続可能開発目標の同時実現に向けた気候政策の統合分析

研究の全体概要

パリ協定では全球気温上昇を工業化前比 2°C/1.5°C に抑制する気候目標が合意された。しかし、同目標の達成に向けて必要な世界規模での気候政策（排出経路等）、及びそれに整合的な我が国の中長期の気候政策についての包括的検討は足りていない。そこで本研究では、長期気候目標・持続可能開発目標の同時実現に向けた世界規模及び我が国の気候政策の統合分析に取り組む。

サブテーマ 1 では、主に二つの統合評価ツールを用いる。第一は全球排出経路モデルであり、最新の気候科学ならびに GHG 削減費用の知見をふまえ、目標達成に必要な全球排出経路とその不確実性を分析する。第二は世界経済モデルであり、気候以外の開発目標の定量分析のための拡張を施し、2°C/1.5°C の気候目標について、21 世紀末までの社会経済・土地利用・GHG 排出・持続可能性指標の統合シナリオを提示する。

サブテーマ 2 では、国内サービス需要モデル（輸送、家計消費等）と国内経済モデルを改良し、炭素税等を含む包括的な政策オプションの検討を実施し、サブテーマ 1 が描く全球気候政策に整合的な形で、我が国でのゼロ排出実現に向けたシナリオを提示する。また、他サブテーマと連携してステークホルダー対話を実施し、将来シナリオをより政策検討に資するものに発展させる。

サブテーマ 3 では、日本技術モデルの改良および技術情報の拡充を通じて、サブテーマ 1 が描く全球気候政策に整合的な形で、我が国でのゼロ排出実現に向けたエネルギー技術対策の定量化を実施する。

研究の全体概要図

研究課題番号：2-1702 / 研究課題名：パリ協定気候目標と持続可能開発目標の同時実現に向けた気候政策の統合分析
研究代表機関名：国立研究開発法人 国立環境研究所

